

市民検討会でいただいた質問・意見



調布駅前広場が、子どもの声があふれ、緑がたくさんある『ほっとする』場所になってほしい。市民検討会でも、調布駅前広場について具体的に考えたい。

景観は、スピード感のある解決方法ではありません。色やデザインのルールを作り、守っていくことで、いずれ効果が発揮されるものです。

調布市全体の駅の景観を考え、『緑』『子ども』といったコンセプトを市民のみなさんからいただければ、次の計画や整備を考える時に活かされると思います。

石川先生

調布市では、令和元年9月に「調布駅前ひろば検討会」を立ち上げ、調布駅前広場の整備について検討や再確認を行っており、市民検討会とも情報交換しながら進めていきます。

市民検討会では、駅周辺の建物や広告物、広場などさまざまな要素を広い視点で考えていく予定です。

事務局



市民検討会で検討したことは、市の計画や施策にどのように反映されるのか。

市民検討会のとりまとめとしては、第1期・第2期と同様に検討内容をとりまとめた冊子や、景観学習につながる資料の作成を考えています。

また、いただいたご意見などを踏まえて、景観形成の方針や景観形成基準の見直し等につなげることができると考えています。

事務局

景観まちづくり 市民検討会のご案内

次回の市民検討会では、駅の視察で気づいたことや、調布市の駅の景観に活かせる点などの意見交換を行います。

第4回市民検討会

日にち 令和2年2月21日(金)
時間 午後7時から
場所 たづくり10階1001学習室

市民検討会の参加者を募集しています！

調布市では、景観まちづくりについて、景観だよりでお知らせをしていきます。

発行：調布市都市整備部 都市計画課 景観係

Tel：042-481-7746 Fax：042-481-6800 Email：tikubetu@w2.city.chofu.tokyo.jp

本号の目次

- 〔第2回市民検討会〕
駅周辺の景観を知ろう
- 市民検討会で考えたいこと
- 駅周辺の景観とは？
- 市民検討会でいただいた質問・意見



第48号

令和2年1月31日
発行

ちようふ景観だより



駅周辺の景観を知ろう

第2回景観まちづくり市民検討会は、『駅周辺の景観を知ろう』と題し、調布市の景観まちづくりの取組紹介や、景観アドバイザー石川氏より「駅周辺の景観の考えかた」をレクチャーしていただきました。



レクチャー『駅周辺の景観の考えかた』

石川 初 氏
慶應義塾大学大学院教授
調布市景観アドバイザー



駅の役割は、時代の変化にあわせて移り変わっています。まちのシンボルであった駅ですが、調布駅では京王線の地下化が完了し、トリエ京王調布が開業するなど、駅を取り巻く状況やすがたも変化しています。



当初は…

電車に乗る場所

もともと『駅』の役割は、電車に乗る場所、電車を待つ場所。電車を待つ時間を過ごすため、駅前に広場がつくられました。

本数が増加すると…

乗り換える場所

電車がたくさん走ると、駅は電車からバス、車、自転車など、ほかの交通手段に乗り換える場所になりました。

現在では…

いろいろな目的がある場所

電車に乗るだけでなく、「買い物に行く場所」「遊びに行く場所」になり、駅周辺がまちのランドマークになりつつあります。

例えば…

調布駅に行くと、バスがロータリーにたくさん止まっているのが目立ちます。1台1台は動いていて常に入れ替わっていますが、調布駅前には常にバスがあります。景観という観点から「バスのデザインを考えてみよう！」など、市民検討会はいろいろなことを題材に考えることができる会だと思います。

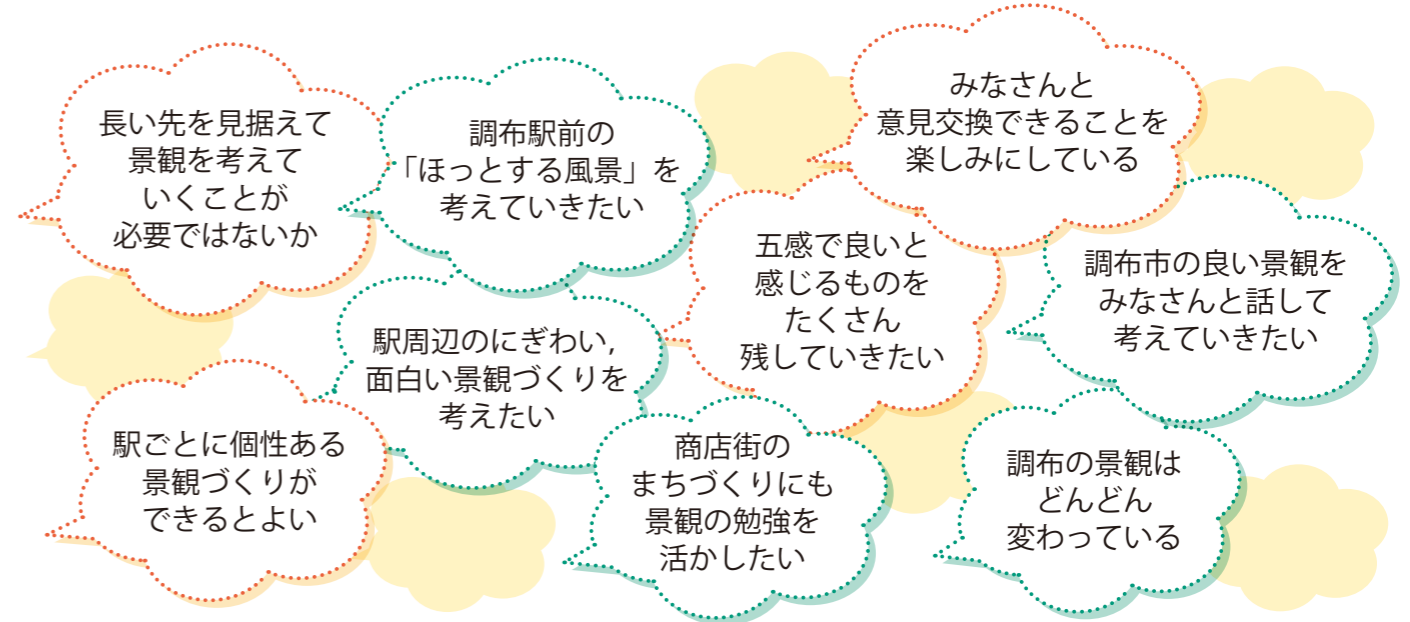


調布らしい駅の景観を考えるには…

『景観』は、さまざまな切り口、さまざまな立場、さまざまな視点で考えることができます。みなさんの多様で豊かなイメージや意見を持ち寄り、次回は駅周辺の景観を考えていきましょう。

市民検討会で考えたいこと

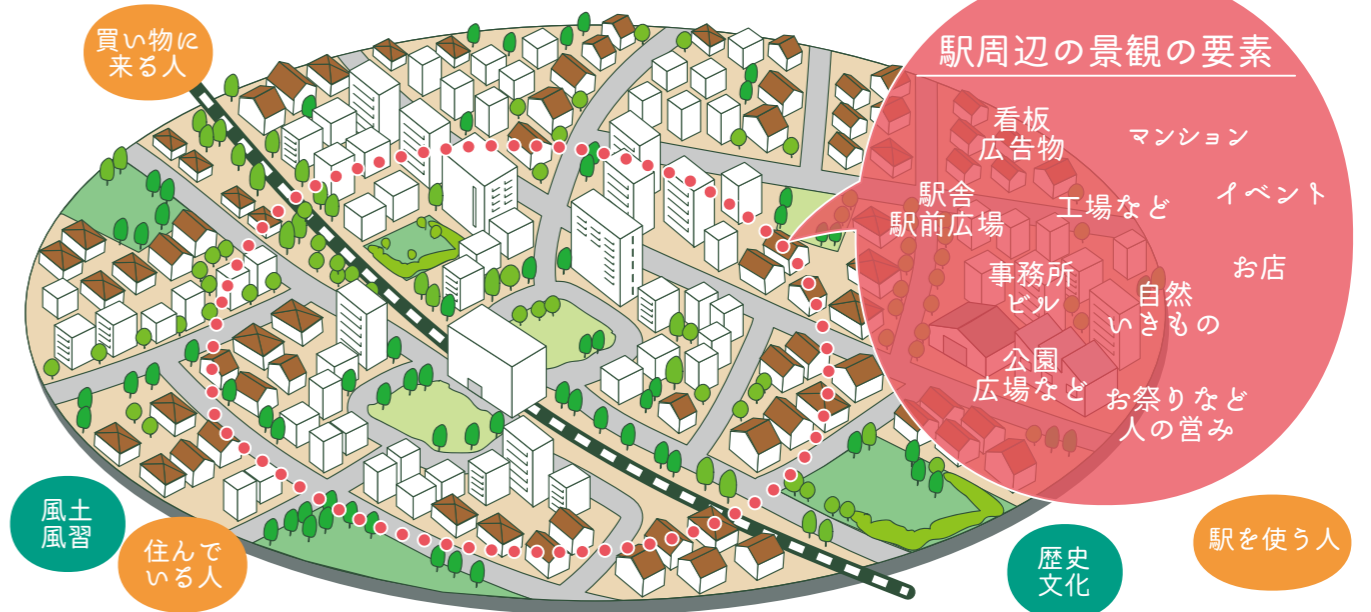
検討会では、第3期の参加者のみなさんに、自己紹介と今回の参加の動機などについて話をさせていただきました。その中でいただいた「市民検討会で考えたいこと」をご紹介します。



駅周辺の景観とは？

駅前に立つと、駅舎や線路、駅前広場だけでなく、周辺の店舗やマンション、ビルなどの建物、広告物などさまざまなものが見えます。

また、駅を利用したり、周辺に住んでいる『人』や、目に見えない『歴史』や『文化』も景観をつくりだしている要素のひとつです。



いろいろな要素が重なり『駅周辺の景観』が作られています！駅を中心に、広い範囲で『景観』について考えてみましょう。

